

旬な現場 ～若手技術者の紹介～

## 平成30年度 41号宮峠トンネル久々野工区管路工事

発注者：高山国道事務所

受注者：株式会社長瀬土建 



2010年入社 千葉 慧人

地元の高等学校(土木課)を卒業後、長瀬土建に入社しました。平成26年に2級土木施工管理技士を取得し、それからは現場代理人として10件ほどの現場を担当してきました。平成29年には、国道事務所発注工事を現場代理人として担当し、今回は2度目の国道事務所発注工事の現場代理人となります。

### ～ 工事概要 ～

本工事は、国道41号線にある「宮峠(標高775m)」という峠道に、昨年貫通したトンネルの坑内で排水路および電気通信管路を設置する工事となります。この宮峠は急勾配かつ急カーブも多いため、飛騨地域でも交通事故が多い道路です。また冬季になると標高が高いこともあり、頻繁に凍結して危険です。トンネルが供用開始すれば、事故の軽減や怖い思いをしながら運転することも無くなり地域活性化にも繋がります。トンネルの供用開始を待ち望んでいる声も多く耳にするので、安全かつ円滑に工事を進められるよう努力していきます。



### ～ 現場での役割 ～

現場代理人として着工から竣工まで、工事設計の照査に現場の段取り、安全および工程の管理や地元への対応、会社の利益確保など仕事は多岐にわたります。たくさんの業務を上司や協力会社、発注者の方々に相談し、打合せを行う中で日々勉強し仕事に励んでいます。

### ～ 仕事のやりがい ～

今年で入社して10年目になりますが、わからない事や知らない事がまだまだ沢山あります。前回担当した国道事務所発注工事はICT活用工事で、わからないことだらけでした。しかし、そんなわからない事がわかっていく。その結果が形になり、最終的に道になる。ICTに関しては、その時の経験よりICTアドバイザーの認定も頂きました。自分が携わった現場を実際に車で走ったり、近くを通ると現場をやっていたころを思い出します。特に自分は地元の会社で、地元の工事に携わることが大半なのでその機会も多いです。そんな時、何とも言い難い喜びや感動があります。うまく言い表せませんが、そんな時にやりがいのある仕事だなあ...と感じます。

### ～ 建設業に興味のある若者へ ～

正直、ラクな仕事ではありません。ラクな仕事なんて無いと思いますが…。ですが、やりがいは非常にある仕事です。そしてキツイイメージを持たれがちな職種ですが、現在、建設業の業界でも週休2日の取り組みも始まっています。(当現場も週休2日で進める予定です。)景気は会社によると思いますが、決して悪い業界ではないと思います。

いろいろな業界で担い手不足が起きていると思いますが、この業界も若手が少ないです。しかし若手が少ないのはチャンスなのではないかと自分は思っています。この業界は何年後かには確実に技術者が減ります。しかしこの仕事は道を新しく作るだけでなく、道の維持管理や災害復旧などの仕事もあるので、仕事がなくなることは無いと思います。そこで今のうちに、この業界で経験を積むことは将来的に絶対無駄にはならないし、重宝される...かもしれません。

最後の方は少し個人的な意見ですが、この業界に興味のある若い方は是非、この仕事を選んで頂けると嬉しいです。